



かじか)。

佐藤

通学路の途中、果物の農園があり、ぶどうは及川さん(1丁目)、西瓜は川沿の佐藤秀一さん、りんごは後平さん。この頃、どこの家庭でも、トマト・味瓜・ぐすべり・さくらんぼ等があった。(美味しかった。ゴメンナサイ!)

司会

その当時のスポーツ・遊びは?

奥山

野球をよくしました。北島坂(北島與三松氏)を境としてチームが構成され、浄水場チームと農家チームの戦いがありました。浄水場チームのホームグラウンドは宅地造成跡を利用、農家チームは休耕している畑を使用した。浄水場チームのコーチは、沢木実氏、選手達は、奥山兄弟・進藤兄弟・大高兄弟等の面々、対する農家チームのコーチは、小長谷政昭・阿天坊稔氏の両先輩、選手達は、田口兄弟・紺野兄弟・佐藤清・上野誠氏の顔が浮かんできます。ですから学校の宿題もやったことがない。甲子園へ行った選手も誰もなし。体が丈夫だけが取り柄、丈夫で長持ち、これが基本さ。

(出席者・大爆笑)

田口

当時、われわれの小使い(現金)の収入源は、ホップもぎ(ビールの原料)・りんごの袋掛け・子供相撲大会での勝ち抜きトーナメントの賞金等が主でした。特に、大相撲は栃錦・若の花(初代)・朝潮(初代)・大内山等の名力士が、一世を風靡していた(この頃、ようやくテレビが普及してきた)。



昭和 39 年の運動会で優勝

北ノ沢第三分区、旗を持つのは小長谷さん



北ノ沢の少年は相撲の賞金で小遣いを稼いだ

昭和 4 0 年頃



昭和 42 年運動会、優勝の表彰式

その中に、小柄な力士で室蘭出身、北葉山(後に大関に昇進)の土俵際の、うっちゃりの技を見て、これなら俺たちにぴったりだと思ひ親父さんの畑の隅に、手作りの土俵で、毎日特訓を重ねた。その成果が実り、身体のかな人とも対等に勝負することができたが、横綱は無理だった(北葉山関に感謝)。

佐 藤 北ノ沢神社祭が、毎年楽しみだった(現在の第一町内会館)。芸能一座・一行7~8人が、手品・民謡・歌謡ショー・浪曲・寸劇等、いろいろな演目でわれわれは楽しませて貰いました。まつり最後のイベントは、映画観賞だった。当時テレビは高嶺の花で、一般家庭には余りありませんでしたので、映画が楽しみでした。

『二等兵物語』主演・伴淳三郎、花菱アチャコだったと記憶しており、いい場面になると、必ずフィルムが切れてしまい、館内からため息が漏れ出し、でも映写技師さんも、汗だくでがんばっていたから、誰からも文句は出なかった。

司 会 藻岩観光自動車道路の工事・開通は？

田 口 小学校2~3年の頃かなー。いやな思い出が浮かんできたよ。自衛隊の工事車両が往来し、トラック・ブルドーザー・ジープなどが、砂けむりを上げて、われわれの顔も砂だらけになり、何度も顔を洗ったことか(一同笑い)。

佐 藤 最初の工事は自衛隊が担当し、後半は民間会社が担当したと思う。自宅の隣に工事用宿舎があり、刺青入りの工事関係者の方々が出入りし恐ろしかった。また、自衛隊作業班の隊員の方に、ブルドーザーに乗せてもらった(内緒)。

田 口 観光道路開通に伴い、土曜・日曜日のみ札幌駅から藻岩山頂までの直行バスが、往復3便運行していた。午前10時頃、正午頃、午後3時頃で、われわれの生活の時計役を果たしていた。このバスが上がってくれば、一服の時間、次のバスで昼食。だからバスは生活のリズムそのものだったんだよ。

奥 山 停留所に待っていなくても、手を挙げると乗せてくれて、腹具合が悪いとウソをついて、自宅前で降りた。今はそういうことは、できないけれど(一同笑い)。

佐 藤 平日の月曜~金曜日のバス利用は、藻岩線(札幌駅~石山通~硬石山)が通常運行していた。一番最寄りの停留所は、現在の寿司達さんの処にあった。[藻岩観光道路入り口] 往復徒歩だった。

田 口 その後、藻岩山手線が運行し、藻岩観光道路管理事務所~藻岩橋経由~真駒内行き(現在、市バス藻岩営業所)で、マイクロバスが

使用された(地下鉄自衛隊駅・交通博物館に展示してある。なつかしいです)。

このマイクロバスの運行により、通勤・通学・買い物が便利になった。当時の買い物は青果は自家製、魚類は、小樽から行商の伯父さんたちが、月に1~2回程度来ていたが、このバスのお蔭で母達の行動範囲が広まった。雨の日は、農作業が出来ない為に、このバスを利用して、札幌中心街・2条市場、丸井今井デパート・金市館・池内金物店・狸小路……………。

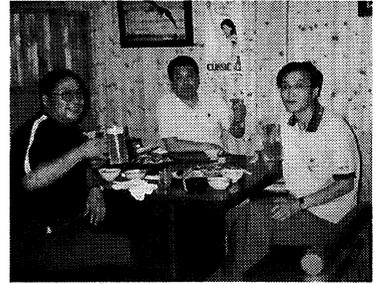
尚、父達は、家畜がいるので、自宅でじっと我慢・がまんしてたね???

司 会 観光道路開通に伴い、生活環境に何か変化がありましたか?

奥 山 家は新築ブームとなり、農業をやめていく農家が増え、宅地に変わっていきました。馬もいなくなり、耕耘機も姿を消してしまった……………。

司 会 皆様はこれからも、北ノ沢に住みつづけ、この地を見守ってくださいますね?。

一 同 勿論、そうさせていただきます。  
司 会 本日は有難うございました。



座談会の後、乾杯  
佐藤、奥山、田口の各氏

( 文責 佐藤 )

